

(議長)

会議を再開致します。

高齢あんしん課所管の予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。

(議長)

高齢あんしん課長。

「高齢あんしん課長」

えー高齢あんしん課所管分、一般会計からご説明申し上げます。よろしくお願ひ致します。予算資料は9ページをご覧下さい。事業番号は89番から97番、100番、109番から111番まで、主に大きな増減があった事業についてご説明させていただきます。

えっ90番、老人福祉センター設備改修です。当該施設は地域の方々がつど、集い、災害時にはボランティア拠点と活用される予定となりますことから、100畳の集会室にエアコンを設置する新規事業でございます。予算額は630万3千円です。

次に91番、養護老人ホーム入所措置費です。えー現在入所されている方は53名です。施設入所者数の増加と養護老人ホーム単価報酬改定に伴い、前年度対比で922万5千円増額しております。

えっ2段飛びまして94番、福祉バス運行です。えー昨日、まちづくり推進課からもご説明申し上げたと思いますが、40人乗り福祉バスは令和8年3月をもって廃車となりますことから、前年対比で260万5千円減額しております。

続きまして100番、介護保険特別会計繰出金は、介護給付費の公費負担と地域支援事業公費負担額及び職員人件費等を一般会計から繰り出すもので、前年対比で1,075万2千円の増額になっております。

えっ10ページをお開き下さい。次に110番、在宅型総合福祉施設管理です。燃料費、光熱水費等の高騰、委託料保守の人件費高騰により、施設管理費全体で、前年対比で354万4千円の増額となっております。

111番は、在宅型総合福祉施設、3年計画で最終年度エアコンの新規事業です。3年目はデイサービス脱衣場、廊下、事務室の3カ所を予定しております。予算額は619万6千円です。

えっ引き続き、介護保険特別会計についてご説明申し上げます。予算資料30ページから31ページの、えー17、令和8年度介護保険予算構成表をご覧下さい。

始めに、総務費につきましては、一般管理費が人件費の、えー昇給に伴う増額と新規事業でございます。えー新規事業でございます介護情報基盤整備システムに係る委託料を含めて、全体で、えー468万2千円の増額となります。また、第10期計画策定を行う年でありまして、新規事業として、第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定として、364万8千円を計上しております。

続きまして、保険給付費です。居宅サービス等給付費でございますが、主に増加しているサービスは特別養護老人ホーム、次いで訪問リハビリ等の訪問系サービスが微増しております。施設入所者が増加している傾向であり、前年対比で1,057万5千円の増額となりました。

えー次に、地域密着型介護サービス給付費です。えっ当町には無い、看護小規模多機能居宅介護施設は増加しておりますが、江差町にあります地域密着型サービスは全て、全てにおいて減少している事から、実績を基に前年対比で995万3千円の減額と致しました。

次に、30ページ下段にあります、地域支援事業をご覧ください。えっ地域支援事業は、被保険者が要介護状態、要支援状態になることを予防することを目的とする介護予防事業を始め、総合相談支援、医療介護連携、生活支援体制整備、認知症対策などの事務事業の予算となります。前年対比で750万7千円の増額となっております。新規事業と致しまして、介護予防生活支援サービスとして、従来のA型に加え、新たな枠組みとして創設する予定の総合事業として、499万2千円を新たに計上しております。

えー二つ下の、一般介護予防事業費でございますが、先ほど総合事業と関連して地域において介護予防の自主的に、介護予防を自主的に取り組んでいる17団体への助成をしております。えっ将来的には、総合事業の枠組みの中で活動をして頂けるよう、丁寧に説明して参りたいと考えております。併せて、生活支援体制整備事業の地域支え合い協議会やネクストイノベーションでも総合事業の内容や単価設定なども含め、住民の皆様と共に協議して参りたいと考えております。

えっ介護保険特別会計の8年度、えー予算額総合計は、11億9,530万4千円となり、前年度から1,553万7千円の増額となっております。

えー各種事業及び業務につきましては、地域の方々と共同で進めて参ります。また、地域福祉計画とも内容の共有を図りながら、高齢者が安心して暮らせる町を目指して取り組んで参ります。

以上、簡単ではございますが、高齢あんしん課所管の一般会計及び介護保険特別会計の予算に関する説明とさせていただきます。ご審議のほど、よろしくお願い致します。

(議長)

以上で補足説明が終わりましたので、質疑を許します。
質疑希望ありませんか。

(議長)

小野寺議員。

「小野寺議員」

えーと、2点お聞きします。

最初に、えー江差町の高齢者等緊急通報システムの設置の、おー事業についてですが、えー若干担当者とも意見交換させて頂きましたので、多分課長、あの報告は聞いているか

とは思いますが。

この制度と言いますか、今のシステム機器、使ってもう、何年経ってるんでしょうかね、十数年経ってるんでしょうかね。ひと、一言で言うともう古いシステムになっております。固定電話が基本になれば、えー作動しない、いー高齢者の緊急通報システムになっております。高齢者、段々段々もう、固定電話使わなくなって来ております。もうスマ、スマホでも良いという人もおります。スマホを持って固定電話いらなと思ってても、緊急通報システムを使うために、付けなければならぬんです。持っていなかった人は。

更には、止めようと思った人はそのまま使って、経費、もう本当に私、こういう緊急通報システムを使う方々、大体年金暮らしとかその年金でも国保で、国民年金で、満額貰っていないとか、もう1千円、2千円、3千円、それで本当にいつも通帳を見ているという方々、もう電話止めたいという話もしておりました、何人も。

で、まあ担当の方から聞いたらちょっと簡単ではないと言う事は、あの一私も理解してるつもりですが、改めてやっぱりこれちょっとね、直ぐとはいかないかもしれませんが、えー対策をとって頂きたいというのが1点目。

えー2点目ですが、これはあの一、ちょっと総務課、あ、総務課長さんもいらっしゃるんですね。総務課との関係も有るかと思うんですけれども、江差町要支援者登録制度実施要綱に則って、避難者名簿が作られております。ただ、今もちょっと言いましたが、ベースは地域防災計画の中で、えー防災計画の中の大きな枠組みの中で、えー担当として高齢あんしん課が、まあやっていると事なので、まああの一、制度設計そのもので言うと、きっと総務課になっちゃうかもしれませんので、えーもし、そういうふうになっちゃったら、場合によっては総務課長お願いしますが。

えっと、この名簿、えー作られて、大体名簿にはそれぞれの関係、まあ高齢あんしん課、えー町民福祉課などの情報で、まあ台帳は、まあ出来ていると言う事で、えー数年前から個別計画が、私もう何回かここで取り上げましたけれども、あの担当の方に聞けば、もう一生懸命、個別計画で動いているというのが分かりました。質問します。

個別計画の進捗状況をちょっとお聞きしたいと言う事と、昨日たまたま帰ったらテレビで、えーまっ今日の10てん、3.11と言う事もあったんでしょうが、昨日色んなニュースの中に、この個別計画を使って、そして実質的には、まあ情報を受ける、例えば町内会などが、えーその個別計画なども含めて、じゃあ誰々さんをどうやって避難しましょうかって言う事を、町内会ぐるみで色々検討してます、大変です、って言うのをテレビでやって、私、あの一改めて自分の町内会で、えーどう対応していったのかなと言う事で、すごく反省しております。

名簿は貰ったとしても、それはあくまでも名簿で、個別の計画が、正直無いと、じゃあどんなふうになってるのって分からないんですね。実際に、これを地域町内会などで活用するとすれば、まだ個別計画の進捗にもよるでしょうし、全体のものにするのであれば、その個別計画の情報を町内会でしっかりと、えー分かったとしたら誰が対応しようかとかって言う事も含めてやんなきゃなんない。ここは、あくまでも、えーこの名簿は、名簿が載ったからといって直ぐ支援される訳じゃありませんよって、但し書きは有りますけれ

ども、だけどやっぱり受けた町内会としては、この名簿に則って何とか頑張ろうと。そして個別計画が、まあ分かれば、また更に違いますね。

と言う事で、まっ高齢あんしん課になるのか、総務課なのか分かりませんが、この名簿、そして名簿に則って作った個別計画をしっかりと身のあるものにするにすれば、更に町内会にそれを出したとか、個別計画は、あれ全部町内会に行くわけじゃないですね。行くんですかね。ちょ、そういう事も含めて、じゃあこういうふうに行って行こうかとかかって言う事も、えーお互い双方向で、えー実の有るものにやっ行って行く必要があるなと思ったんです。ただそれを作ればいいだけではないと言う事について、ちょっとお考えをお聞きしたいと思いました。ごめんなさい、もしかしたらこっちになるのでしょうか。まず、お願いします。

(議長)

高齢あんしん課長。

「高齢あんしん課長」

小野寺議員のご質問にお答え致します。

えーまず、緊急通報システムに関してです。えー緊急通報システムは、現在、えーと在宅、シルバーハウジング以外の在宅に設置されている件数が30、30台。で、シルバーハウジングが22台と言う事で、全部で52台、あの一町内で設置されております。

議員おっしゃる通り、やはり機器が、えーと、まあ長年やってきて携帯電話が無い時代から、えー設置されて来ていたものでしたので、まっあの一、時代に合って来てないっていうのが、まっ緊急通報システムは、あの一状況としてはございます。

それで、えーと現在あの一、NTTの製造自体も、えっと2033年をもって製造中止するという、えーと予定が、あの出されています。で、この、えーシステムは固定電話の回線のみで、やっぱり対応しているもので、携帯電話の回線は、あの一使われないう事、やはりあの一、主流、携帯電話が主流となってきた現在には合わなくなって来たっていうのが製造中止の要因でございます。

えー携帯電話のような、あの一SIMという携帯電話に入ってるデータのSIM回線を使った、あの一通信システムで、緊急通報の、えーとまあ機能を持ち合わせているものを、えーと民間企業の例えばセコムさんだったり、アルソックさんだったり、そういうところから既に、あの一販売もされている状況にあります。民間企業さんでも販売されているものは、あの一電話回線も不要であって、個々での契約となりますので、また別途、あの料金は、あの一掛かって来るものも有るんですけども、えーと、まあ個々に応じた、あの一必要なサービスメニューも、あの一提示されておりますので、選択出来るという部分では、えー安心して、あの一システムが、あの一利用出来るシステムが次々と販売されているって言う、あの一状況にもあります。

うん。えーと当町のシステムではやっぱり、あの一対応、出来かねる事例も、もう既に出て来ておりますので、そう言った場合には、あの一今も民間のシステムのご紹介も窓口

でさせて頂いている状況でございます。

えーいずれに致しましても、あの一ご本人からの救急要請の発報を、やはり途切れさせないための方法、新たな方法を含めて、今後、2000、2033年、すぐ7年後ですので準備、整理して参りたいと考えております。

それから、2点目でございます。2点目が、個別避難計画と、えー要支援者台帳の関係についてでございますが、えーと現在、高齢あんしん課で、あの一要支援者台帳を整備しております。その台帳を基に、えー個別避難計画は防災担当の総務課が、えーと中心となって取り組んでおります。関係課にて、まあ情報共有を図りながら、個別避難計画が必要な方を抽出して、えっとそれぞれの、高齢であれば、えーと高齢あんしん課が担当して、訪問して個別計画を立てて行く、えーと一まあ障がいであれば町民福祉課がと、それぞれ分野に別れて計画を立てますが、集約は、えー総務課の方で行って頂いております。

えー今後に関してなんですけれども、まあシステム運用、まっ全体を通して、防災伝達、伝達システムもございますので、ま、それなども踏まえてより効果的な管理方法、あの一総務課とも研究して参りたいと思います。

えーと要支援者台帳は、えーと対象者を把握するための基礎の名簿となり、えー個別避難計画は実際の避難行動を想定した具体的な、えーと支援計画となりますので、台帳はリストであって、計画は、えーと作戦っていうふうに、えーと私は捉えております。

えーいずれにしても、えーと災害時に、いざという時、えー活用出来るように、えーと連携して取り組んで参りたいと思います。よろしくお願い致します。

(議長)

小野寺議員。今、個別。その、その他の、総務課の方の個別計画については、ちょっと今、資料を取りに行ってるんで、暫時休憩致します。

休憩 11 : 36

再開 11 : 38

(議長)

休憩を閉じて再開致します。

総務課長。

「総務課長」

えー進捗状況と言う事で、えー私の方からご答弁申し上げたいと思います。

えー支援者の、えっ名簿について、180名対象者がございまして、えー今27名策定を終えているところでございます。えー災害リスクが有る所につきましては、6年度、7年度で、えー作り上げると言う事になってございますので、えー現在作業をしておりますけれども、えーリスク有る所については、7年度中に、いー完成をするというふうに伺って

ございます。以上です。

(議長)

小野寺議員。

「小野寺議員」

えっと、ちょっと総務課長になるかもしれません。

作るのは一つの、まあ作戦と言う先ほど言いましたが、それはそれで一つの目標かもしれませんが、もっと大きな目標は、それを名簿に挙げた、計画が出来たから直ぐしなん、支援に結びつく訳ではありませんよって書いてはいるものの、先ほど言いました、本当にテレビ観てそうだなと思ったんですが、町内会など名簿を貰った、個別支援計画を作られたったら、やはり何かあった時は、えー例えば、町内会でこう対応しようと言う事も、それはやっぱり必要になって来ると思うんですよ。そこは、もう本当に、ね、双方向でね役場と、例えば町内会も含めて、その名簿を使ってじゃあどうしましょうかと言う事をやっていかなかったら、何のための情報なのって言う事にもまたなるかもしれませんので、是非、それも、ちょっと検討して頂きたいと思うんです。どうでしょうか。

(議長)

総務課長。

「総務課長」

えー小野寺議員おっしゃる通りですね、あの一方向での連携は間違いなく必要だというふうに考えてございますので、えー今後また、出来る計画を基にですね、必要があればまた地域に降りて行ってですね、協議して参りたいというふうに考えてございますので、ご理解願えれば。

(議長)

他に質疑希望ありませんので、高齢あんしん課所管の予算並びに関連議案についての質疑を終わります。

説明入れ替えのため暫時休憩致します。

休憩 11 : 39